

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2019年8月23日発行



8月の聖句「平和を実現する人は幸いである」

(新約聖書 マタイによる福音書・5章9節)

昨今、ネット社会になって品性を欠き、人と人との関係においても、否定語が多くなり、関係がギクシャクしているようなことが多くなったように思われます。

否定語が飛び交うとき、感情的になり、息苦しくなり、対話を失い、どんどん悪い方向へ行ってしまう。

それに対して、互いに善いところを認め、祝福するなら、その関係は創造的平和的になることでしょう。

まずは、相手への敬意と尊敬、受容と祝福！イエスさまの言葉は、弱い弟子たちを先ず祝福し、教えられました。その事柄はわたしたちを平和へと導きます。そして、そのことは大人と子供との関係においても、言えることではないでしょうか。そのことを大切にしたいと思うこの頃です。

チャプレン 司祭・池田 亨

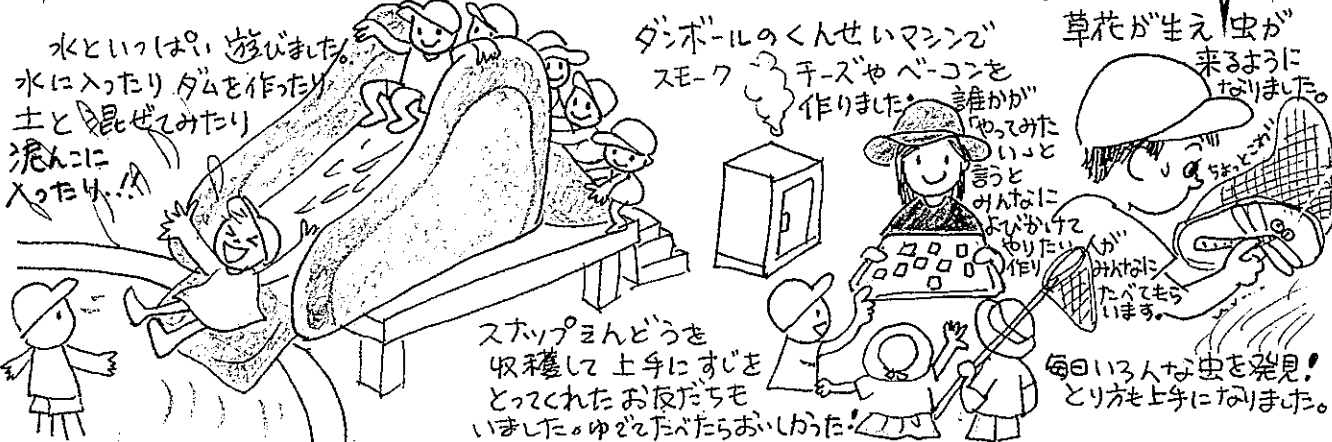
バザー・フェスティバルありがとうございました！

7月20日(土)夏らしい暑さの中、皆さんありがとうございました。楽しいゲームやごはんを用意して下さったバザー委員さん、手作りサークルさんの素敵な作品やおもちゃ、伝統あるおやじの会のおいしい焼き鳥、音楽サークルさんのハッピーなステージ、びしっと決まった太鼓の発表や卒園児の歌、そのほかにもたくさんのご協力のもと、本当に平和で楽しい一日でした。売り上げの中から79,000円もいただきましたので、子ども達のために使わせていただきます。皆さん、本当にありがとうございました！



みんなの遊び(学び)がどんどん発展！目がキラキラ！園長・菊地 和子

園庭を改造して3年目に入ったこの夏、子ども達の遊びは本当に豊かでした。



草、花、実を見つけたら「！」っとひらめくみんな



1学期の献金

毎週月曜日、子ども達のかわいいお財布に献金を持たせて下さりありがとうございます。担任の先生はお祈りの中で、「私たちはこうして楽しく幼稚園で過ごしていますが、世界中には苦しみの中にいる人々がいっぱいいます。」と、自分たち以外の人々に目を向けさせ、みんなの献金と優しい気持ちが少しでも届くようにとお話してくれま

先生の言葉を聞きながら、小さな手を組み合わせてギュッと目をつぶり、静かにお祈りする子ども達です。1学期の献金は全部で38,100円にもなりました！このお金は、もと園長先生だった雨宮司祭の娘さんの、雨宮春子さんのもとへお届けしようと思っています。



聖十字幼稚園横の牧師館で小学校4年生から高校2年生までを過ごした春子さんは助産師さん。JOCS(海外医療協力会)の一員として、今年の1月から3年間の予定でタンザニアに滞在し、お母さんと赤ちゃんの健康といのちを守る活動をしています。今、スワヒリ語を習得しながら頑張っています。

聖十字幼稚園のみんなの献金が、遠いアフリカの赤ちゃんの命を救うことになれば嬉しいですね。